

**2016年12月17日(土) 13時30分～17時30分**  
**青山学院大学本多記念国際会議場 (青山キャンパス 17号館 6階)**

入場無料・予約不要

## 国際シンポジウム

# ドキュメンタリー映画が描く 災害と大量死の記憶

講演者：ケイコ・クルディ、リンダ・オオハマ

コメンテーター：堀真理子、伊藤ゆかり、小菅隼人、  
楠原偕子、マーク・メニッシュ

(使用言語：日本語および英語、通訳あり)

ドキュメンタリー映画作家であるゲスト・スピーカーが取材した東日本大震災・福島  
の原発事故についてのドキュメンタリー映画を題材に、レクチャーと質疑応答を行います。

### ケイコ・クルディ

1968年11月南仏・アルル生まれ。東京大学大学院にて  
総合文化研究科超域文化科学専攻博士課程を修了。  
2004年より京都造形芸術大学芸術学部映像・舞台芸術  
学科助教授。東日本大震災が起きた時は、フランスで  
インタラクティブインストールプロジェクトの  
準備中だった。この大災害にショックを受け、ドキュ  
メンタリー映画『霧の向こう』を制作した。

### リンダ・オオハマ

カナダのアルバータ州で育った日系カナダ人三世。カルガ  
リー大学やバンフ・スクール・オブ・アーツ、ビショップ  
大学、エミリー・カー芸術大学、プリティッシュ・コロンビ  
ア大学で学び、芸術と教育の分野で学位を取得。教職に就  
いた後に、ヴィジュアル・アートの制作を始めた。その後、  
映画の仕事に取りかかり、ドキュメンタリー映画でいくつ  
かの賞を受賞。現在はバンクーバー在住。東日本大震災後、  
ドキュメンタリー映画『東北の新月』を制作。



### 会場アクセス：

JR 山手線、JR 埼京線、東急線、京王井の頭線、東京メトロ副都心線 他「渋谷駅」  
より徒歩10分

東京メトロ (銀座線・千代田線・半蔵門線) 「表参道駅」より徒歩5分

問い合わせ先：経済研究所 (03-3409-7924)

主催) 経済研究所特別研究プロジェクトおよび、科研基盤研究 C「大量死の記憶と演劇的想像力に関する総合的研究」  
共催) 青山学院大学人権教育委員会

本シンポジウムは青山学院大学経済研究所、および、JSPS 科研費 JP26370284 (代表・山梨県立大学准教授・伊藤ゆかり)  
の助成を受けたものです。